（様式2）

7　令和5年度 船越小学校地域学校協議会プラン

1　学校の課題

提言①　学力向上のために、家庭との連携を図り、学習習慣の定着・強化をはかる。
提言②　親子連携カード（ゲーム・携帯電話使用のルールづくり等）の取組を充実する。

2　提言の実働化に向けた具体的な取組（3者協働の場合）

具体的な取組			
	学　校	家　庭	地　域
提言①	○PTA 総会・理事会・地域学校協議会・学級懇談会・配布文書等により、学力や生活実態・課題を家庭や地域に説明。 ○学習習慣「学年×10分＋10分以上」定着の呼びかけと「家庭学習がんばりカード（年5回）」の取り組み方・目標設定・結果等の共有。	○PTA 目標の意識化と学級委員会における家庭学習に関する学年別の目標設定。 ○「家庭学習パンフレット」を生かし、「家庭学習がんばりカード」の「学年×10分＋10分以上」定着を継続して声かけ、家庭での計画的な学習や読書の促進。	○学力向上のための取組や学力・生活の実態・課題を地域学校協議会にて共通理解・意見交流。
提言②	○PTA 学級委員会との協働による「親子連携カード」の取組（集約・分析・結果共有）。 ○スローメディアに関する実態把握と規範意識育成講習設定。 ○学級懇談会や PTA 理事会で、毎学期の経過（成果・課題）報告、改善点を提示し、協力要請する。	○各学期に期間を設けて「親子連携カード」に取り組み、PTA 学級委員会で集約・分析・反省し、各学級懇談会で評価・改善を共有する。 ○家庭でのゲーム・携帯電話使用のルールをつくり、各家庭での声かけ・実践をする。	○各学期の地域学校協議会で、「親子連携カード」の取組結果と児童の実態を共有する。 ○家庭でのゲーム・携帯電話使用のルール作りについての助言をする。

3　児童生徒の成長

〈年度初め〉

① 学年×10分＋10分以上の家庭学習を行っている児童の割合：65%

② テレビ・ゲームを2時間以下：57%・早寝・早起き・8時間睡眠：82%

※ R4年度保護者アンケート（集計値）

→

〈年度末〉

① 学年×10分＋10分以上家庭学習を行っている児童の割合：68%以上

② テレビ・ゲームを2時間以下：60%以上
早寝・早起き・8時間睡眠：85%以上

※ R5年度保護者アンケート（目標値）

（様式2）

令和４年度 〇〇学校地域学校協議会プラン（記入例）

１　学校の課題

提言①　家庭学習習慣の定着・強化のために、「家庭学習強化週間」を設定したり、地域ボランティアによる放課後学習を行ったりする。 提言②　メディアの使用時間を適切にするために、「スローメディア週間」を設定して「家族団らんタイム」を増やす取組を行う。

２　提言の実働化に向けた具体的な取組（3者協働の場合）

具　体　的　な　取　組			
	学　　校	家　　庭	地　　域
提言①	〇児童の学力の実態と課題を家庭や地域に説明する。 〇放課後学習の場を設定する。 〇家庭学習強化週間を設定する。 〇適切な量と質の家庭学習の課題を出す。	〇家庭での学習を行うような促しの声かけと学習課題を終えた後の賞賛を行う。 〇チェックシートにコメントや評価を書く。	〇学力の保障と向上についての課題解決を図る必要性を広報する。 〇放課後学習への地域ボランティアの募集や派遣を行う。
提言②	〇スローメディアの期間を設定する。 〇スローメディアの取組の結果を集約し、家庭・地域に知らせる。	〇テレビを消すなど、家庭で学習する環境を整える。 〇スローメディア期間において積極的に家族団らんの時間をつくる。	

※学校、家庭の2者協働の場合は、「地域」の欄に斜線を引く。

３　児童生徒の成長

〈年度初め〉		〈年度末〉
①学年×10分の家庭学習を行う児童の割合：70% ②平日のメディア使用時間が2時間以下の割合が□□%	→	①学年×10分の家庭学習を行う児童の割合：80% ②平日のメディア使用時間が2時間以下の割合が〇〇%